

岩手県沖合でとれた日本初記録の  
シロヒゲホシエゾ（新称）

丸山 潔・大野 賢二  
(1973年8月25日受領)

The first record of *Melanostomias albibarba* from Japan

Kiyoshi Maruyama and Kenji Ōno

Fishes of the family Melanostomiidae previously recorded from Japan include seven species in five genera. In 1972, the junior author found a specimen of *Melanostomias albibarba* Regan and Trewavas in the northern Pacific ( $38^{\circ}58.0' \sim 39^{\circ}7.5' N$ ,  $142^{\circ}12.8' \sim 142^{\circ}15.5' E$ ). This specimen here reported represents the first record of the species from Japan. A new Japanese name "Shirohige-hoshieso" is proposed.

岩手県大船渡沖合から採集したワニトカゲギス類の

1標本を検したところ、これがホテイエソ科の一種で、日本近海産既知種とは全く異なる、大西洋、カリブ海から知られている *Melanostomias albibarba* Regan and Trewavas であることが明らかになったので報告する。

*Melanostomias albibarba* Regan and Trewavas.  
1930. シロヒゲホシエゾ（新称）

供試標本

海洋水産資源開発センターが、第8親潮丸(58.98トン)を専用として実施した太平洋北区沖合底びき網新漁場企業化調査に参加した筆者の一人大野が、1972年8月2日、岩手県大船渡沖合(投網地点  $38^{\circ}58.0' N$ ,  $142^{\circ}12.8' E$ , 水深 585m, 揚網地点  $39^{\circ}7.5' N$ ,  $142^{\circ}15.5' E$ , 水深 690m, ロープ長 1,600m)から採集した標準体長 187mm の1標本: I.F.E.S.-538。なお、この標本は袖網の網目にかかったもので、固定が悪いため、変形こそしているが、極めて美事な標本である。

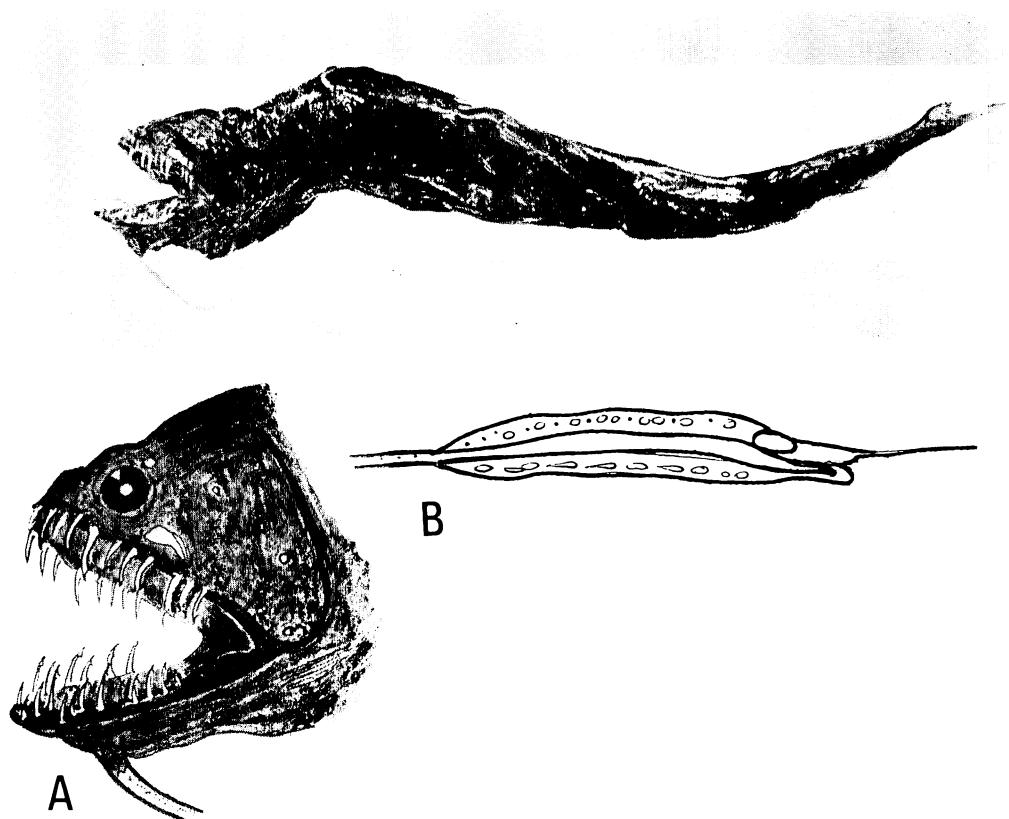


Fig. 1. *Melanostomias albibarba* Regen et Trewavas from off Ōfunado, Iwate Prefecture, 187 mm in standard length. A: Head of the specimen showing teeth on the upper and lower jaws, and the organs of the head. B: The barbel.

## 記 載

体各部の測定値 (mm) (括弧内は標準体長に対する百分率). 体高 24.0 (12.8), 頭長 26.0 (13.9), 頭高 20.0 (10.6), 吻長 5.0 (2.7), 眼径 3.5 (1.9), 眼窩径 4.5 (2.4), 眼後部発光器長 5.0 (2.7), 上顎長 24.5 (13.1), 最長上顎歯長 (第 5 番目) 5.0 (2.7), 最長下顎歯長 (第 4 と 第 8 番目) 5.0 (2.7), 触鬚長 68.0 (36.3), 腹鰓長 19.0 (10.1), 胸鰓長 9.0 (4.8), 尾柄高 5.0 (2.7), 背鰓前部長 156.0 (83.5), 脇鰓前部長 161.0 (86.0), 腹鰓前部長 129.0 (69.0), 胸鰓前部長 20.0 (14.7), 背鰓基底長 17.5 (9.4), 脇鰓基底長 21.5 (11.5), 腹鰓基底長 3.0 (1.6), 胸鰓基底長 1.0 (0.5).

計数値. 背鰓 14 軟条, 脇鰓 18 軟条, 腹鰓 7 軟条, 胸鰓 5 軟条, 第 1 鰓弓の下枝上の鰓弓歯 9 歯群 (各歯群は 2 個の歯よりなるが, 前方から 7 番目の歯群のみは 3 歯からなり, かつ外側に位置する), 峠部から胸鰓までの腹側発光器数 (I.-P.) 11, 胸鰓から腹鰓まで (P.-V.) 27, 腹鰓から脇鰓まで (V.-A.) 12, 脇鰓から尾鰓まで (A.-C.) 12, 体側発光器数は狭部から腹鰓まで (I.-V.) 26, 腹鰓から脇鰓 (V.-A.) まで 12.

体は頭部から尾部にかけて細くなり, 延長し, 背鰓と脇鰓は尾鰓に近く対生する. 腹鰓は後位, 胸鰓は前位で, 上顎骨末端下に位置する. 尾鰓は叉形で上葉は下葉より短かい. 発光器は体側と腹側の二列のほかに頭部眼窩後縁近くから上顎骨に沿って後方に伸びる三角形状の大きな発光器と鰓蓋骨上の一円形発光器, 比較的不明瞭ではあるが眼の上部と, 眼と鰓蓋縁の中間に各一つ, そして, 鰓蓋下隅に二つの接してならぶ比較的不明瞭な発光器がある. 頤にある一本の触鬚は, 頭長の 2.6 倍で, 付根の部分だけが黒色で全体が半透明で白色を呈する. 触鬚の茎の先の約半分近い 42% の部分は, 肥大し延長して寒天質様の透明帶で囲周される膨張部を形成している. この寒天質様の透明帶の中に, 茎の先端近く上部に接して一つの大卵形白色の発光器がある. またその後部両側に小球形と長橢円形をした白色発光器が, 一部のものは接続している. また, 茎の腹面には黒い小円形をした色素体が散在して卵形発光器の近くまで一黒点列を形成している. なお, 付根に近い部分は黒点の散在する幅も広い. また膨張部の先端は二叉し, 上部端に一小纖維状糸がある.

歯は上顎に大小 11, 下顎に大小 12 の内側に倒れる二尖頭歯がある. 上顎歯では第 5 番目のものが, また下顎歯では第 4 番目と第 8 番目のものが殆んど等長で最も長く, 共に吻長, 眼後部発光器長, 尾柄高等と同じ長さである. 歯列は前部で不規則で, 両顎歯共に

1~2 本のものが外側, 内側から生じている. 鋤骨歯は左右対歯を形成しているが, 右側のものは長短二本が相接して対歯を形成している. 口蓋骨歯は右側に 5 本, 左側に 6 本あって, 右側のものは美事な 1 列を形成しているのに反して左側のものは寧ろ二本づつ対歯をなす形状を呈し, しかも対状をなす二歯の長さは長短不同である. 舌端の歯は 3 本で, 左側のものは対歯状をなしている.

## 附 記

Regan and Trewavas (1930) の原記載値と比較すると, 眼がやや小さいのを除くとその他の点で計測値は殆んどよく一致している. 発光器の数は腹側列の I.-P. で 1 個多く, V.-A. で 1 個少なく, A.-C. で 2 個多い相異を示すが, その他の部位では殆んどよく一致している.

なお, Parr (1927) の *M. melanops* Brauer の記載とも殆んどよく一致しているが, この記載に用いられた標本は *B. melanops* ではなく, *B. albibarba* であると Regan and Trewavas (1930) は指摘している.

Morrow and Gibbs (1964) は本種を *M. biseriatus* の異名とし, 研究に供した 4 標本について, 触鬚末端纖維状糸は 3 雌標本にあって, 1 雄標本にないことから, これは性的特徴を示すものだろとしている. しかし, 本標本は, 調査の結果雄で, しかも末端纖維状糸があるのでその主張とは相異なる. また触鬚の図に示されているような茎状部の着色の相異を雌雄間の, また雄間の個体差とみなすことには疑問が残る. さらに多くの標本類によって検討されるべきだろと考える. したがって本報告では *M. albibarba* を *M. biseriatus* と別種として扱った.

## 引 用 文 献

- Morrow, J. E., Jr., and R. H. Gibbs, Jr. 1964. Family Melanostomiidae. In fishes of the Western North Atlantic, Sears Found, Mar, Res. Mem., 1(4): 351~511.  
 Parr, A. B. 1927. Scientific results of the third oceanographic expedition of the "Pawnee" 1927. The stomiatoid fishes of the suborder Gymnophotodermi. (*Astronesthidae*, *Melanostomiidae*, *Idiacanthidae*) with a complete review of the species. Bull Bingham Oceanogr. Coll., 3(2): 1~123, figs. 1~62.  
 Regan, C. T. and E. Trewavas. 1930. The fishes of the families Stomiidae and Melacosteidae. The Danish "Dana"-Expeditions 1920~22 in the North Atlantic and the Gulf of Panama, (6): 1~43, figs. 1~138, pls. 1~14.  
 (026 釜石市新浜町 1 丁目 4 番 21 号, 岩手県水産試験場・  
 020 盛岡市内丸 10 番 1 号, 岩手県林業水産部漁政課)